

ものづくり DXWG 中間とりまとめ ディスカッションの様子

1 日時：2026 年 3 月 13 日(金) 15:00~17:00

2 開催方法：ハイブリット開催（Zoom ウェビナーを使用）

3 参加者：本記録では質問者や回答者等参加者の所属等を表記せず、質問やその回答を次のとおり表記する。

・：質問や意見

→：質問対応、意見への反応

議事次第に沿って講演等を行い、質疑応答や意見交換を実施。議事次第は以下のとおり。

(1) 開会

(2) 座長挨拶

(3) 中間とりまとめ（案）報告

説明者：ものづくり DXWG 事務局

尾野 貴敏 氏

(4) ディスカッション

・資料 P20、P27 にある『閉域網だから安全という神話はとうに崩壊している』の言葉について、表現が強いと感じる。また、中小企業が活用できる市町村レベルの支援策も必要と考える。さらに、資料 P30、P32 について、あらゆるデータをセンサーで取るのが重要と記載いただいたが、その中でカメラを取り上げた理由を聞きたい。

→閉域網が問題という意図ではなく、閉域網であれば安全という漠然とした考え方が危険。閉域網は閉域網ならではのセキュリティ対策が必要。そこから発展してクラウド、インターネットに繋ぐことに潜むリスクやそれに対する対策を明確にしなければならない。

・閉域網だからすべて安全ではないというのは通信事業者として我々も理解しているが、この書き方でいいのか。

→表現の変更か、注釈にて対応させていただく。

また、省庁横断ワストップ支援については今後議論になると思う。市町村レベルについても追加で検討させていただく。

導入が手軽で、防犯カメラ映像も活用できるため AI との組み合わせに適している。振動センサーなどは費用やシステム面で導入が難しく、まずは人の作業を置き換えるものとして最も実現しやすいカメラを例示した。他にも簡単な手法があれば随時追加する。

・IT も OT も非常に幅広く、AI も画像系と言語系では世界が違う。カメラのデータは非構造化データと呼ばれ、これをどうデジタルデータにするのかというところの工夫に AI を

活用できるが、100%の精度でやるのも難しく、また得られたデータをどう分析するかというところが難しい。ROIの問題としては、どれだけ無駄が省けるか、効率化ができるかが予測できない。特に東海の進んだものづくり企業の皆さんは改善に改善を重ねていると思うので、むしろやりにくい。いきなり長期スパンを含めたROIを考えるのは難しいので、まずはデジタル化して、将来の改善はこれくらいならできると思いますというところをうまく書けるといい。

→AI活用は研究開発という形で費用を捻出しないと難しい。中小企業は負担が大きい
ため、国の補助制度が議論の焦点になる。

・資料P30にある「省人化」という表現は現場での反発が大きいと思われるため、「負担軽減」等柔らかい表現を検討してはどうか。

→こちらは他の言葉に言い換える。第3回勉強会の講演で印象に残った、そこにかかる工数が削減されるということは、もっと他のところに工数を割くことが出来るということという内容を表現したかった。

・資料P8について、WGには時代の変化に合わせた新しい「日本らしさ」を考える場も必要。また、省人化に関して、日本の変化を嫌う風土が改善の障壁になっているため、社長だけでなく社員も含めた意識改革についても考える場があるとありがたい。

・普段まちづくりでのDX推進をしているが、とりまとめ案を見てまちづくりDXと似ていると感じた。失敗事例の共有、利用者視点の導入、課題の認識が重要。

まちづくりをされていて思うのが、課題と認識していない人が多くそこをどうやって気付いてもらうのかみなさんにお聞きしたい

・共有をしやすいするため、失敗事例は匿名で集めると良いのではないか。また、課題発見についても難しい問題だと思う。現場の人は課題だと思っていない、外の人も現場のことは分からない状態では、何も始まらない。事例で気づくのもひとつ。

・省人化は言葉で捉えるとネガティブなところもあるように感じるが、弊社では「少人化」という字を使っており、少ない人数で同じ工程をこなす、少ない人工でやる。そうして生まれた余裕を付加価値につなげていくといった意味がある。

また、今回産学官の取り組みになっているが、提言で出てくるのは、行政の仕組みに問題があるとか、横串で取り組めないかという内容。現在は産業側の意見が多く、それに対する形になるのは少しおかしいと思った。どうやって協同していくのか。どういう方向性で考えているのか。

→従来と異なり、省庁間連携は一般化している。皆さんが使いやすい形をこのWGで議論できたらと思う。

→我々としては一応、総務省や都道府県と一つの枠組みの中で、DXの支援をするようなネットワークを組む事業はしているが、世の中に十分届いていない。今後は幅広くPRしたいと思っており、そういった方向性を記載いただく分にはいいと思う。

→省として正式な回答はできないが、方向性であれば記載できる。ポータルとしてやるのであれば、行政の施策がまとまったページを WG でまとめると良いかと思う。

- ・ DX 推進コミュニティという総通局や県も全部入ったものがあり、その HP に県や国の支援メニューをまとめて記載しているが認知不足が課題。WG の場で紹介していきたい。
- ・ こういった形で見せてくれないと分からないよというのがあれば、この場で提言いただきたい。
- ・ スマート農業とまちづくりというのを最近やらせていただいたが、農業と似ていると感じた。スマート農業も、ものづくり DX と同様にデータ収集・分析・活用のデータ連携が大切。スタートアップ企業との連携や生産現場がどのように働きたいかという視点も必要。
- ・ 施策を考える中でアンケートをして、どういう会社がどういうことに困っているのか層別化されていると良い。会社によってデジタル化の取り組み状況は異なるため、自分たちがどういう位置付けにいて、どういう施策を用意できるのかというところが少し整理されて、表現されると良い。

また、アンケート調査について、我々のところでは来年度から製造業のスマート化というテーマを掲げて取り組むことから、方針づくりのために会員向けにアンケートを取った。今月の 23 日に提言書という形で公表する。そのため今後なんらかの連携はできると思う。

→ぜひその提言を参考にすると良い。自分の会社ってどうなのっていう位置づけが分かると思う。

- ・ 資料 P25 に段階的にステップしていく姿が記載されており、また具体的なソリューションを掲げているので、困りごとやソリューションのキーワードに引っかかって、見られるのが良いと思った。

以上